

西中だより

輝く湯志 躍進西中

神戸市立西落合中学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/noc-ms/>

『初志貫徹』

3年総務

過ごしやすい陽気となりました、日頃より本校の教育活動へのご支援ありがとうございます。先日の文化祭では多くの方々に来校していただき、生徒たちもしっかりと頑張れたようです。

今年度の文化祭も昨年度同様に合唱をはじめ美術部の展示、放送部の発表、吹奏楽部の演奏など華やかで心に残る素晴らしいものとなりました。体育会同様、合唱コンクールではそれぞれのクラスで優勝に向けた取り組みができたようです。勝っても負けても全員で一致団結して取り組めたという思いがあれば、成功と言えるのではないのでしょうか。

さて、先日読んだ本に元メジャーリーガーの松井秀喜選手のことが書いてありました。松井選手はニューヨークヤンキースで活躍され、選手としての素晴らしさだけでなく、人間性の素晴らしさのためニューヨーク市民からとても愛されていました。その松井選手の原点は、中学2年生のときに決めた約束を今もずっと守り続けていることだそうです。その約束とは、『人の悪口を言わない』ということです。中学2年生のとき、父親の前で友達の悪口を言ってひどく叱られ、それ以来今もその約束を一度も破ったことがないそうです。『中学2年生で決めた約束を貫き通し続けること』こそが松井選手の持つ本当の素晴らしさ、強さだと思います。

昨今、携帯電話やスマートホンの普及に伴い生徒たちを取り巻く環境も大きく変わってきています。SNSなどメールのやりとりが頻繁に行われるようになりました。顔が見えず、直接会わないために、誤解や行き違いによるトラブルも多く見られるようです。特に

インターネットの世界では匿名であるがゆえに簡単に『人の悪口を言ったり、中傷したりする』、『好き勝手な意見を言う』ことが行われています。匿名であるからこそ、好き勝手な意見を言い、人を簡単に傷つける……。これってどうかと思ってしまう。 (私個人としては匿名の意見はただの独り言、だと思っていますので無視してもよい意見だと思いますが……。) 自分の名前をしっかりと名乗り、自分の言葉に責任を持つ。言った人もそれなりのリスクを自分で背負う。そのために自分の名前を名乗るのは当たり前のように思います。そういう意見こそ大切にしたい意見だと思います。インターネットの弊害や問題はそう簡単には解決できそうなことではありませんが、松井選手の中学生のときに決めた『人の悪口を言わない』というところに簡単な解決策があるのかもしれませんが。

今年もあと2か月となりました。1年生は中学に入学する際、2、3年生は進級する際に、今年度1年間の目標を作文に書いたことと思います。ぜひ、松井選手のように『決めたことを貫き通すこと』にチャレンジし、決めた目標を貫いて欲しいと思います。初志貫徹です。これができることが本当の才能なのかもしれません。最後になりましたがこれからも保護者の方々や地域の方々を支えられ、成長していける西中生であって欲しいと思います。今後ともよろしくお願いします。



全国学力・学習状況調査結果について

4月19日に行われた全国学力・学習状況調査の本校の結果を報告いたします。今回の調査は昨年引き続き^{しりぞかい}悉皆調査（全国すべての学校で行う）として行われました。

《国語》A・B問題ともに「概ね良好」であった。領域別の結果も、すべての領域に「概ね良好」であった。問題別では、「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」問いにやや課題が見られたが、「目的に応じて必要な情報を読み取る」問いや、「語句の意味を理解し文脈に応じて適切に使う」問いは良好であった。

中でも「文脈に即して漢字を正しく読む、書く」の正答率が大きく上昇した。この力の向上については、学年で一年次から取り組んでいる「漢字の達人」の取組の効果が大きく発揮されていると思われる。

《数学》全体として、概ね良好であった。関数領域の計算や、活用が必要な問題では正答率は高くなっている。単純な知識を問う問題や平易な計算問題では、やや課題がみられた。「計算力を要する問題」では、昨年度と同様に正答率は高くなっている。しかし、「資料の活用の分野」では、昨年度と同様に課題が見られた。

資料の活用は、他分野との関連性を強調するようにし、多方面からの理解を図っていききたい。また、平易な計算もケアレスミスを防ぐよう指導していききたい。

《質問紙調査》規範意識をもって日々の生活をしている生徒が多く、家庭でも規則正しい生活を送ることができている。

読書好きな生徒が多く、一日の読書量も多い生徒が目立つ一方、全く読書をしていない生徒の割合も多い。また、地域行事に参加しない生徒の割合が高く、積極的に参加する生徒は少ない。

規則正しい生活を送っている生徒が多いので、余暇を読書や学習に充てるよう指導することで学習状況もさらに改善が見込まれる。また地域行事に興味を持たせ、自ら進んで活動に参加する啓発活動が必要であると考えます。

11月の行事予定

日	曜	予 定	部	弁	ミ
1	火	学級委員会 生徒会立候補者受付	○	○	○
2	水	心臓精密検査 6p (E) 1年キャリア教育講演会 学年協議会・専門委員会	○	○	○
3	木	文化の日			
4	金	3年実力テスト 木曜授業 全校協議会	○	○	○
5	土				
6	日				
7	月	3年生教育テリパリー授業(6p) 2年トライやる・ウィーク	×	1, 3	×
8	火		1, 3	1, 3	×
9	水	6p (火6) PTA 運営委員会	1, 3	1, 3	×
10	木	学年朝集 3年証明写真	1, 3	1, 3	×
11	金	3年生進路講演会・保護者会 1年表現ワークショップ (PM)	1, 3	1, 3	×
12	土	須磨区ダンス発表会 神戸市イングリッシュフェスティバル			
13	日				
14	月	全校朝集 3年個別保護者会・6pカット	○	○	○
15	火		○	○	○
16	水	1年表現ワークショップ (PM) 6p (火6)	○	○	○
17	木	学年朝集	○	○	○
18	金	金1~5p 6pカット 小6部活動体験	○	○	○
19	土				
20	日				
21	月	全校朝集 フォローアップ週間 学校公開	×	○	○
22	火	区域別人権教育研究会	×	○	○
23	水	勤労感謝の日 6p (木6)	×	○	×
24	木	代休	×	×	×
25	金		×	○	○
26	土				
27	日				
28	月	期末考査	×	×	×
29	火		×	×	×
30	水	仲よし文化発表会	○	部活	×

12月の主な予定

2日(金) 生徒会選挙 5日(月) 3年実力テスト
15日(木)~20日(火) 3年個別保護者会
22日(木) 終業式

(※裏面もご覧ください。)

音楽コンクール文化祭を終えて

『文化祭を終えて』

1年2組

はじめは、声も小さくて、みんなの気持ちはバラバラでした。私はアルトのパートリーダーで、どうやってやる気を出してもらえるか悩みました。クラス全体も「金賞とるぞ」という雰囲気ではありませんでした。けれど少しずつ教室で練習する人が増えてきました。

そして迎えた予行では、1年生3クラスの中で、一番声が小さいという結果になってしまい、クラスが「これではダメだ」という雰囲気になっていきました。そして、普段の練習から本番を意識して歌えるようになりました。歌詞の意味を考えると、どんどん優しい歌声にもなってきました。

そして、文化祭本番。舞台上上がるまではとても緊張したけれど、みんなの思いがこもったお守りのことを思い出すと緊張が吹き飛びました。今までで一番いい合唱だったと思います。

結果発表のとき、「金賞とれるかな」と少しドキドキしました。「1年生の金賞は2組」と言われた瞬間は、うれしさがはじけそうになりました。「やったー」と叫びたい気持ちになりました。はじめは怒られることもあったけど、みんなとがんばってよかったと思えました。みんな本当にありがとう。



『文化祭 吹奏楽ステージ ～先輩との最後の演奏～』

2年2組

私は文化祭練習の時から、この文化祭が三年生と演奏する最後の舞台だと思いながら練習していました。パート練習の時も「最後だ」という思いで先輩と合わせていました。後、先輩たちと一緒に演奏する「ラプンツェルのソロ」を何回も練習しました。本番間違えずに吹けて良かったです。

文化祭の曲の中で一番難しかったのは、「スターウォーズのテーマ」でした。その曲はみんなが違うリズムで合わせるのでとても難しかったです。そんな曲でも先輩はとても上手に吹いていました。やっぱりすごいと思いました。

本番。生徒会の劇をみている時から私は緊張していました。一曲目、二曲目と間違えずに進んでいきました。三曲目、ふっと横を見ると先輩が涙を流しながら演奏していました。アンコール曲「キセキ」で私は、もらい泣きをしてしまい、上手に吹くことができませんでした。サビの部分ではすごくすごく泣きました。先輩との演奏、最後の曲だと思うと、思いがこみ上げてきました。

とても思い出に残る演奏ができた文化祭でした。



『音楽コンクールを終えて』

3年2組

音楽コンクールで私たちのクラスが歌ったのは『手紙』という歌でした。この歌は音を大切に歌うよりも、未来の自分に向けて歌詞の一つひとつを届けるように歌うのが大切な歌だと思いました。だから、さらにひとつにというスローガンのもと、常に成長しようとしている2組にはぴったりの歌でした。

でも、音楽コンクールのリハーサルで私たちはいい合唱ができませんでした。せっかくの歌詞も間違えるところがあり、伴奏とも合わせられず、このままではだめだ、と2組はみんな思ったはずです。この日からの練習は歌詞を覚えることはもちろん、パートリーダーの人を中心に、歌詞の意味をとらえて歌うようになりました。そのおかげで、リハーサルではうまくいかなかった合唱に、どんどん2組の色がついていきました。全員がしっかり歌詞を覚えて、指揮者を見ながら歌えるようになり、合唱コンクールの当日を迎えました。

当日の朝、教室に入ると、黒板には『さらに一つに』の文字と、2組のみんなの思いが貼られていました。全員の思いがひとつになっているのを実感できてうれしかったです。ステージに上がり、歌っている間は、一つひとつの歌詞に思いを込めて合唱ができました。

優勝はできなかったけれど、2組の追い上げはとても良かったと思うし、最高の合唱ができました。最後まであきらめず、気持ちを一つにできた合唱でした。



表彰の記録

第60回神戸市中学校技術・家庭科作品展

〈出品〉

〈優秀賞〉

〈発明工夫賞〉

〈青少年科学館賞〉

〈表紙絵感謝状〉



第64回神戸市理科作品展

〈青少年科学館賞〉

〈入選〉

書写(連P展)

〈出展〉

第28回神戸市中学校ソフトテニス新人大会

(男子個人の部)

第1位

(男子団体の部)

第3位

第65回神戸市総合体育大会

(ソフトテニス 須磨区チーム)

第2位